

利賀っ子だより



R 3 . 6 . 2 4

○ 新刊本が入りました



令和2年3月に策定された「第2次南砺市教育振興基本計画」の中の『学校教育を支える環境の整備』に“学校図書館の充実”ということが掲げられています。今年度も市よりたくさんの図書費の配当をいただいております。

今年度、新たに購入した本が順次届いています。学校図書館司書助手、事務職員の手で図書室に素敵なコーナーができました。どうしたら子供と本の距離を縮めることができるのかを考えてくださってのことです。興味をひく配架、手書きのPOPの掲示、感想を交流する場の設置等、図書室は日々進化、充実しています。

おかげで、朝の会に今読んでいる本の紹介をする子供がいたり、集合学習で上平小学校に行った時に上平小学校の新刊本を手にとる子供がいたりするなど、図書室の充実が子供たちと本との距離を近づけているなと感じました。



○ 気付いて感謝する

高学年の子供たちが窓からグラウンドを見て、「あ、きれいになっている。(校務助手の) Oさんかな。」「あんな広い所、一人すごい。」などと話していました。グラウンド周辺の斜面の草刈りが進み、きれいになってきているのを見つけての会話でした。自分の回りに意識を向け、他の人にしていただいていることに気付く、そして、感謝の気持ちを抱くことができる子供たち。

こんな姿を広めていくためにも、知らず知らずのうちに支えてもらったり、世話になったりしていることに立ち止まって考えていく機会をつくっていきたいと思います。そうすることが優しさや思いやりの気持ちを育てるのではないかと考えています。



(高田 公美)